

学校名	平井西小学校	対象学年と人数	全学年
活動名	地球の環境問題や身近な環境について		
指導者	学内指導者：全担任 学外支援者：えどがわエコセンター、東京海洋大学、葛西臨海たんけん隊等		

目標

- ・環境に関する知識の気付きを与え、日常生活での取組が環境に対して大きな影響を与えることに関心をもつ。
- ・映像や画像、クイズや体験を交えながら、地球温暖化の仕組みや問題点について知るとともに自分たちの日常や学校生活を振り返る中で生じた疑問や関心について考え、身近なことから行動を起こせるようにする。

成果

- ・えどがわエコセンター等の交流を通し、いろいろな手法で世界の現状を直視しつつ、今私たちがすべきことを学ぶことができた。
- ・人間にとって大切なものを、専門家との出会いによって、自分自身を見つめる機会となった。
- ・今後も、私たちにとって、持続可能な取組の出発点として学ぶことができた。

感想・課題等

- ・今年度はじめて出前授業を中心に持続可能な取組ととらえ体験した。今後も引き続き行い、大きな視野に立って世界の現状を直視しつつ、今できることを子供たちと一緒に考えていく。
- ・出前授業では、凝縮された短時間で行われたが、他の教科と重ねて学習過程をとらえ、もっと長期間に渡って取り組めたらと考える。年間の学習計画を考え、どの時期にどの学年が何をするのかを学校として取りまとめ学習していけたらと考える。
- ・今回、専門家の方の協力がなければできなかった場面も多々あったが、その点を校内体制だけでできるのかを検討しつつも、自分たちでできることとえどがわエコセンターの協力のもと、連携した体制で進めていけたらと考える。
- ・大枠の環境問題については、もっと別な角度からのアプローチもあり、今回とは違ったアプローチの仕方を次年度実施することは次年度の課題としたい。
- ・グローバル社会において、学校教育における主体的対話的な深い学び合いを目指し、学ぶことと社会とつながりを意識し、「何を教えるのか」という知識の質・量の改善に加え、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要と考える